

新入社員が辞める理由は？ ～連合「入社前後のトラブルに関する調査 2022」より

◆ 5月は新入社員の退職が増える時期

5月は、ゴールデンウィーク後に「五月病」と呼ばれるように、気分が晴れない症状が出る人が増え、新入社員の退職などもみられる時期です。

新しい環境に飛び込み、張り詰めた気持ちで過ごしていた新入社員の緊張の糸が切れ、会社に不満を持ち始める時期でもあります。

◆ 「3年以内に3割離職」の現実

日本労働組合総連合会が実施した「入社前後のトラブルに関する調査 2022」（調査期間：2022年2月28日～3月2日、大学卒業後に新卒で正社員として就職した全国の入社2～5年目の男女1,000名の有効サンプルを集計）によれば、新卒入社した会社を「離職した（半年以内）」は7.7%、「離職した（半年を超え、1年以内）」は6.2%、「離職した（1年を超え、2年以内）」は10.4%、「離職した（2年を超え、3年以内）」は5.2%、「離職した（3年を超えてから）」は3.7%となっており、よく言われる「3年以内に3割離職」という状況がここでもみられます。

◆ 新入社員が辞めた理由は？

本調査で会社を辞めた理由を聞いたところ、「仕事が自分に合わない」（40.1%）が最も高くなっています。次いで、「労働時間・休日・休暇の条件がよくなかった」（31.0%）、「賃金の条件がよくなかった」（27.4%）と続き、待遇よりも仕事のミスマッチを挙げる人の割合が多い結果となっています。また、新入社員研修や先輩・上司からの指導・アドバイスがなかった人では、『離職した（計）』の割合は41.9%と、指導・アドバイスがあった人（30.9%）と比べて11.0ポイント高くなっており、周囲の支援による差は大きいことがわかります。

苦勞して採用した社員の離職は避けたいものです。新入社員を抱える職場では、周囲の配慮も必要になってくるでしょう。

【日本労働組合総連合会 「入社前後のトラブルに関する調査 2022」】

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/info/chousa/data/20220428.pdf?6025>

☆☆☆☆☆ フォルテ労務より ☆☆☆☆☆

5月の連休も終わり、いよいよ夏も近づいてきました。月日が過ぎるのが本当に早く感じます。この前、年末を迎え、年が変わったと思ったらもう、半年近くも経ってしまいます。

7月には社会保険の算定基礎届と労働保険（個別）の年度更新があります。両方とも7月11日（月）が期限になります。6月中にはできるだけ計算事務を進めておきたいものです。

「就業規則」「パワハラ防止」「育児・介護休業」「雇用調整助成金」などで疑問点等ありましたら、事務所までご相談ください。



(写真)

連休中の東京（5月4日）

左下 東京駅丸の内口

右上 巢鴨商店街入口

右下 車窓から見た日比谷

(第一生命本社・帝国劇場)

